

## 区政に対する意識調査の実施結果について

### 1 実施の概要

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| (1) 調査対象 | 目黒区在住の満18歳以上の男女3,000人 |
| (2) 抽出台帳 | 住民基本台帳(平成28年10月1日現在)  |
| (3) 抽出方法 | 層化無作為抽出法              |
| (4) 調査方法 | 郵送(無記名回収)方式           |
| (5) 調査期間 | 平成29年1月6日～1月27日       |

### 2 回収結果

- |         |               |
|---------|---------------|
| (1) 回収数 | 1,057人 (981人) |
| (2) 回収率 | 35.2% (32.7%) |

※( )内は、平成25年度意識調査実績

### 3 調査項目

- (1) 基本計画に掲げる「施策の基本的方向(23項目)及び基本方針(3項目)」のうち、今後、優先的に取り組むべきと考える施策
- (2) 基本計画の重点プロジェクトやまち・ひと・しごと総合戦略に掲げる数値目標のうち、区民意識が指標となっている項目(目黒区が安全・安心に暮らせるまちだと思ふ人の割合、目黒区はにぎわいのあるまちだと思ふ人の割合等)
- (3) 基本計画に掲げる「施策の基本的方向(23項目)」の重要度及び満足度
- (4) 区政に対する意見・要望

### 4 調査結果

別紙 報告書及び概要版のとおり

### 5 今後の予定

平成29年4月 区の主な施設の窓口(区政情報コーナー、各地区サービス事務所、各住区センター、各図書館など)や区ホームページで公表

以 上

(資料)

区政に対する意識調査＜概要版＞  
平成29年3月

# 1 調査の概要

## (1) 調査内容

- ア 基本計画に掲げる「施策の基本的方向（23項目）及び基本方針（3項目）」のうち、今後、優先的に取り組むべきと考える施策
- イ 基本計画の重点プロジェクトやまち・ひと・しごと総合戦略に掲げる数値目標のうち、区民意識が指標となっている項目（目黒区が安全・安心に暮らせるまちだと思ふ人の割合、目黒区はにぎわいのあるまちだと思ふ人の割合等）
- ウ 基本計画に掲げる「施策の基本的方向（23項目）」の重要度及び満足度
- エ 区政に対する意見・要望

## (2) 調査設計

- ア 調査対象 目黒区在住の満18歳以上の男女3,000人
- イ 抽出方法 層化無作為抽出法
- ウ 調査方法 郵送（無記名回収）方式
- エ 調査期間 平成29年1月6日～1月27日

## (3) 回収結果

回収数 1,057（回収率 35.2%）

	満18歳以上人口		意識調査対象者数		有効回収数			
	実数 (人)	構成比 (%)	対象者数 (人)	構成比 (%)	回収数	構成比 (%)	回収率 (%)	
<b>合計</b>	239,105	100.0	3,000	100.0	1,057	100.0	35.2	
<b>性別</b>	男性	111,803	46.8	1,403	46.8	409	38.7	29.2
	女性	127,302	53.2	1,597	53.2	607	57.4	38.0
	無回答	-	-	-	-	41	3.9	-
<b>年代別</b>	10・20歳代	38,293	16.0	480	16.0	74	7.0	15.4
	30歳代	51,559	21.6	649	21.6	191	18.1	29.4
	40歳代	48,655	20.3	610	20.3	203	19.2	33.3
	50歳代	33,753	14.1	424	14.1	173	16.4	40.8
	60歳代	27,644	11.6	345	11.5	170	16.1	49.3
	70歳以上	39,201	16.4	492	16.4	226	21.4	45.9
	無回答	-	-	-	-	20	1.9	-
<b>居住地区別</b>	北部地区	39,019	16.3	488	16.3	151	14.3	30.9
	東部地区	49,028	20.5	615	20.5	196	18.5	31.9
	中央地区	49,114	20.5	615	20.5	214	20.2	34.8
	南部地区	42,556	17.8	534	17.8	232	21.9	43.4
	西部地区	59,388	24.8	748	24.9	252	23.8	33.7
	無回答	-	-	-	-	12	1.1	-

#### (4) 標本誤差

標本誤差とは、全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことを指す。

この誤差は、標本の抽出方法や標本数により異なるが、誤差を数学的に計算することが可能である。

本調査の回答結果から、母集団（目黒区在住の満18歳以上の男女）全体の比率を推定するため、無作為抽出法の場合の標本誤差の算出式と早見表を示した。

#### 【標本誤差算出式】

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差  
 N = 母集団数（目黒区の満18歳以上人口）  
 n = 比率算出の基数（回答者数）  
 P = 回答の比率（ $0 \leq P \leq 1$ ）

#### 【早見表】

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,057	± 1.8	± 2.5	± 2.8	± 3.0	± 3.1
1,000	± 1.9	± 2.5	± 2.9	± 3.1	± 3.2
800	± 2.1	± 2.8	± 3.2	± 3.5	± 3.5
600	± 2.4	± 3.3	± 3.7	± 4.0	± 4.1
400	± 3.0	± 4.0	± 4.6	± 4.9	± 5.0
200	± 4.2	± 5.7	± 6.5	± 6.9	± 7.1

(注1)

Nはnより非常に大きく、 $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$  として計算した。

(注2)

この表は、ある設問の回答者数が1,057人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.0%以内ということを表わす。

例えば、「平和と人権施策の推進」について、この施策を推進することが重要だと回答した人が全体（n=1,057）の30.9%だった。

この場合、標本誤差は±2.8%となり、この施策を推進することが重要だと考えている人の割合は、標本誤差を補正すると、28.1%から33.7%の間にあることが95%の信頼度で言えるということを表している。

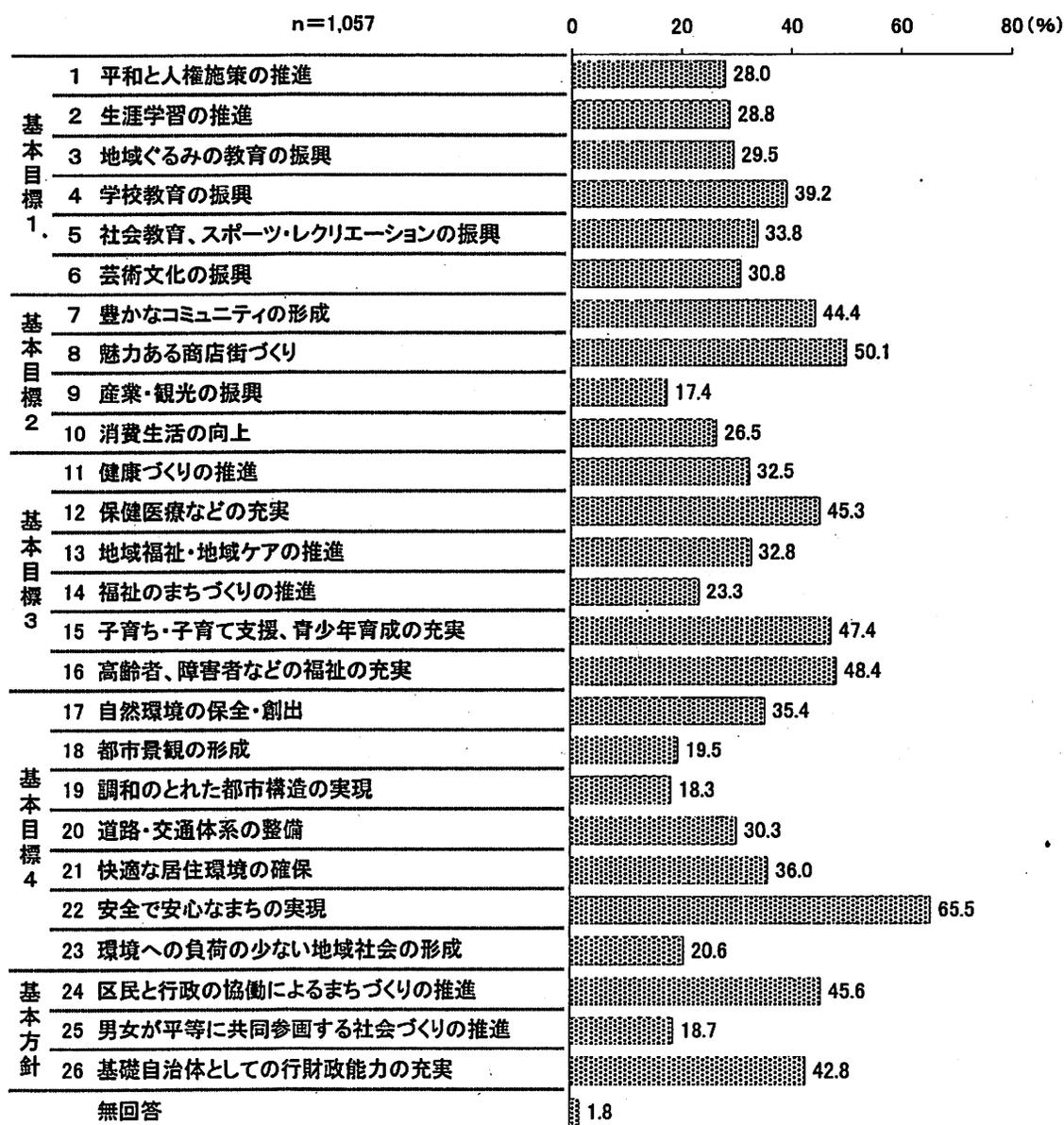
## 2 調査結果

### (1) 優先的に取り組むべきだと思う施策

- 基本計画に掲げる「施策の基本的方向（23項目）及び基本方針（3項目）」のうち、今後、優先的に取り組むべきと考える施策を選んでもらった。
- 【施策全体】では、「安全で安心なまちの実現」（65.5%）が最も高く、次いで「魅力ある商店街づくり」（50.1%）、「高齢者、障害者などの福祉の充実」（48.4%）、「子育て・子育て支援、青少年育成の充実」（47.4%）となっている。

問7-1 目黒区が掲げる基本目標等を達成するために、今後、優先的に取り組むべきだと思う施策を基本目標等ごとに選び、番号に○をつけてください。（いくつでも可。）

図1-1 優先的に取り組むべきだと思う施策【施策全体】

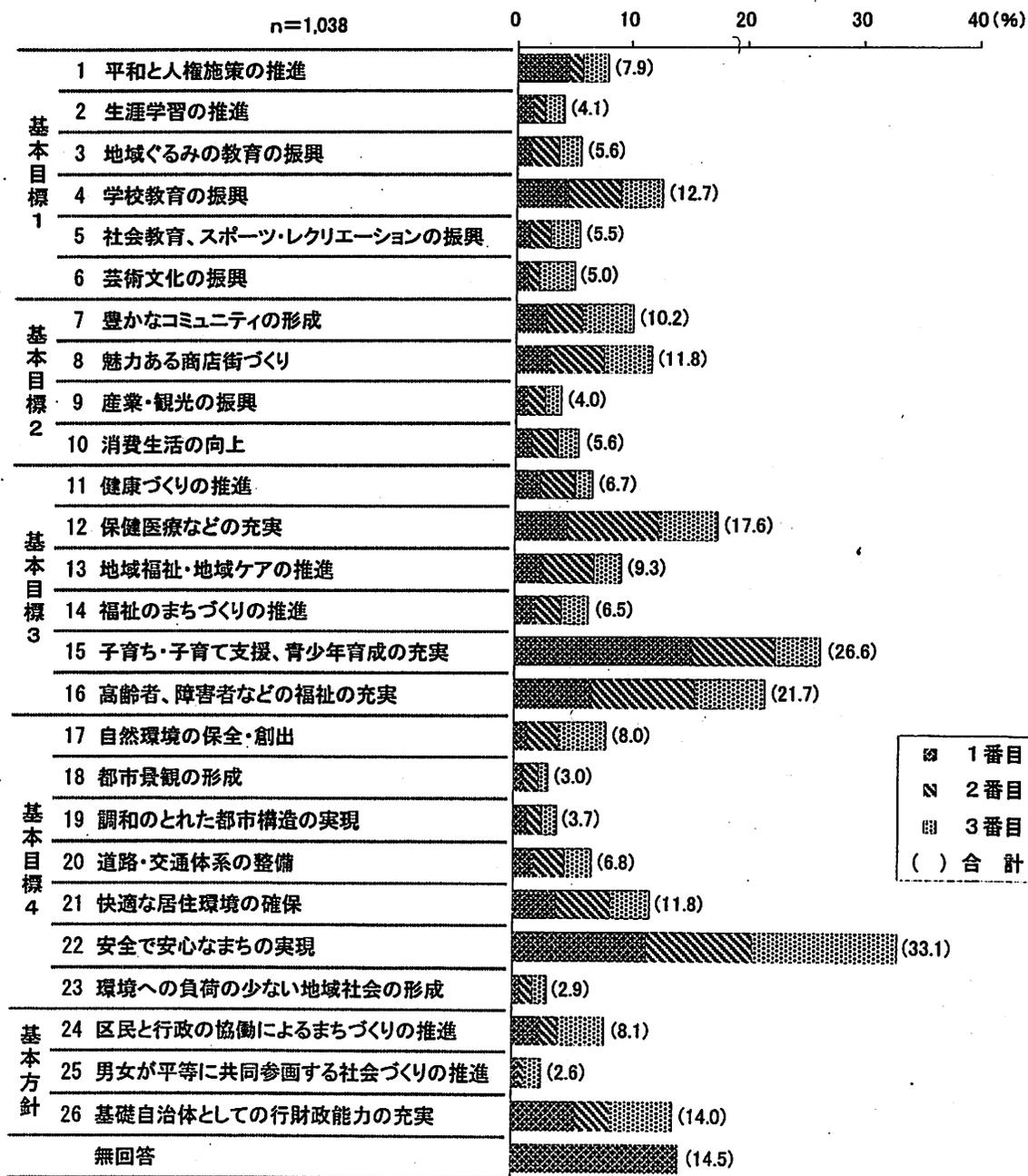


## (2) 特に優先的に取り組むべきだと思う施策

- 問7-1で選んだ施策のうち、特に優先すべきだと思う施策を3つまで選び、順位をつけてもらった。
- 1番目から3番目までの合計でみると、「安全で安心なまちの実現」(33.1%)が最も高く、次いで「子育て・子育て支援、青少年育成の充実」(26.6%)、「高齢者、障害者などの福祉の充実」(21.7%)となっている。また、1番優先すべきだと思う施策では「子育て・子育て支援、青少年育成の充実」(15.5%)が最も高く、次いで「安全で安心なまちの実現」(11.6%)、「高齢者、障害者などの福祉の充実」(6.8%)となっている。

問7-2 問7-1で選んだ施策のうち、特に優先すべきだと思う施策を3つまで選び、番号を記入してください。(1番目から3番目まで、順位をつけてください)

図1-2 特に優先すべきだと思う施策【施策全体】



### (3) 施策に対する「重要度」と施策への取組に対する「満足度」

- 基本計画に掲げる施策の基本的方向（23 項目）に対する「重要度」と、その取組に対する「満足度」について聞いた。
- 重要度、満足度の比較をより明確にするために、下記の計算式にあるように数段階の評価に点数を与え評価点を算出し、重要度評価と満足度評価を相関させた分布図を作成した。

$$\text{重要度評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重要である」} \times 2 \text{点} \qquad \qquad \qquad + \text{「まあ重要である」} \times 1 \text{点} \\ + \text{「あまり重要でない」} \times \blacktriangle 1 \text{点} \qquad \qquad + \text{「重要でない」} \times \blacktriangle 2 \text{点} \\ + \text{「わからない・その他」} \times 0 \text{点} \end{array}}{\text{回答者数（無回答を除く）}}$$

$$\text{満足度評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」} \times 2 \text{点} \qquad \qquad \qquad + \text{「まあ満足している」} \times 1 \text{点} \\ + \text{「あまり満足していない」} \times \blacktriangle 1 \text{点} \qquad \qquad + \text{「満足していない」} \times \blacktriangle 2 \text{点} \\ + \text{「わからない・その他」} \times 0 \text{点} \end{array}}{\text{回答者数（無回答を除く）}}$$

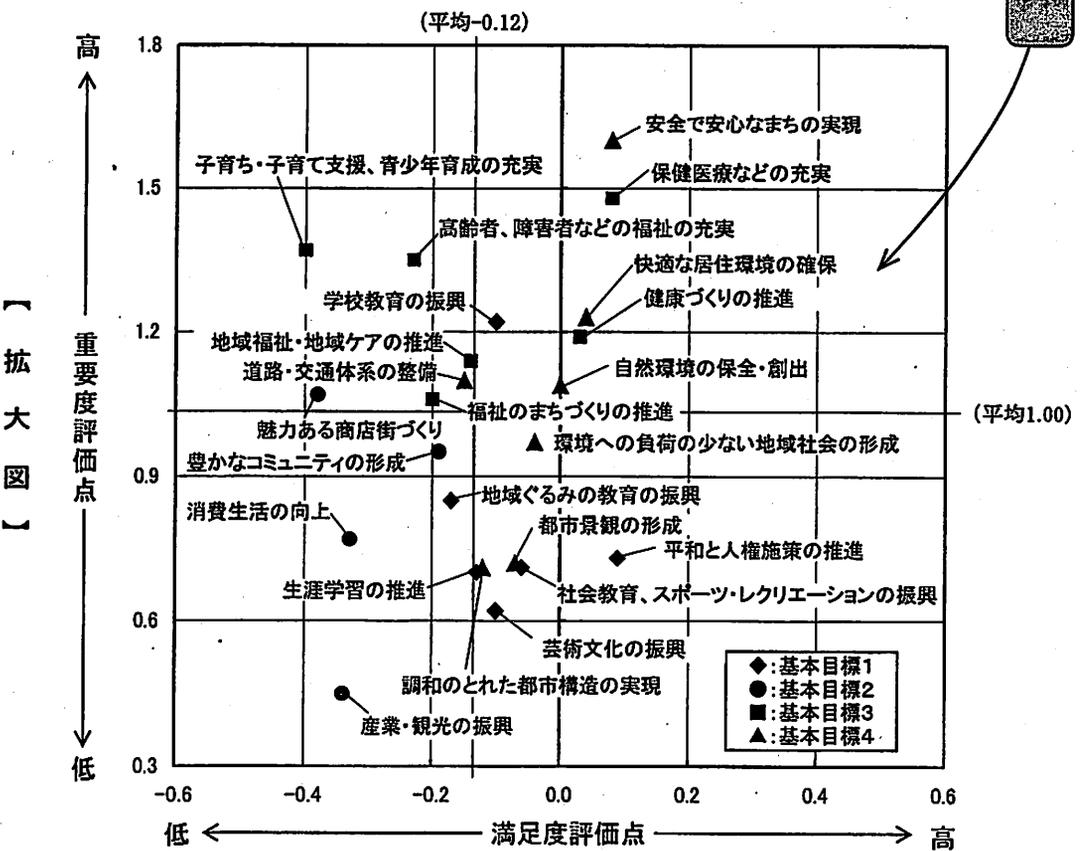
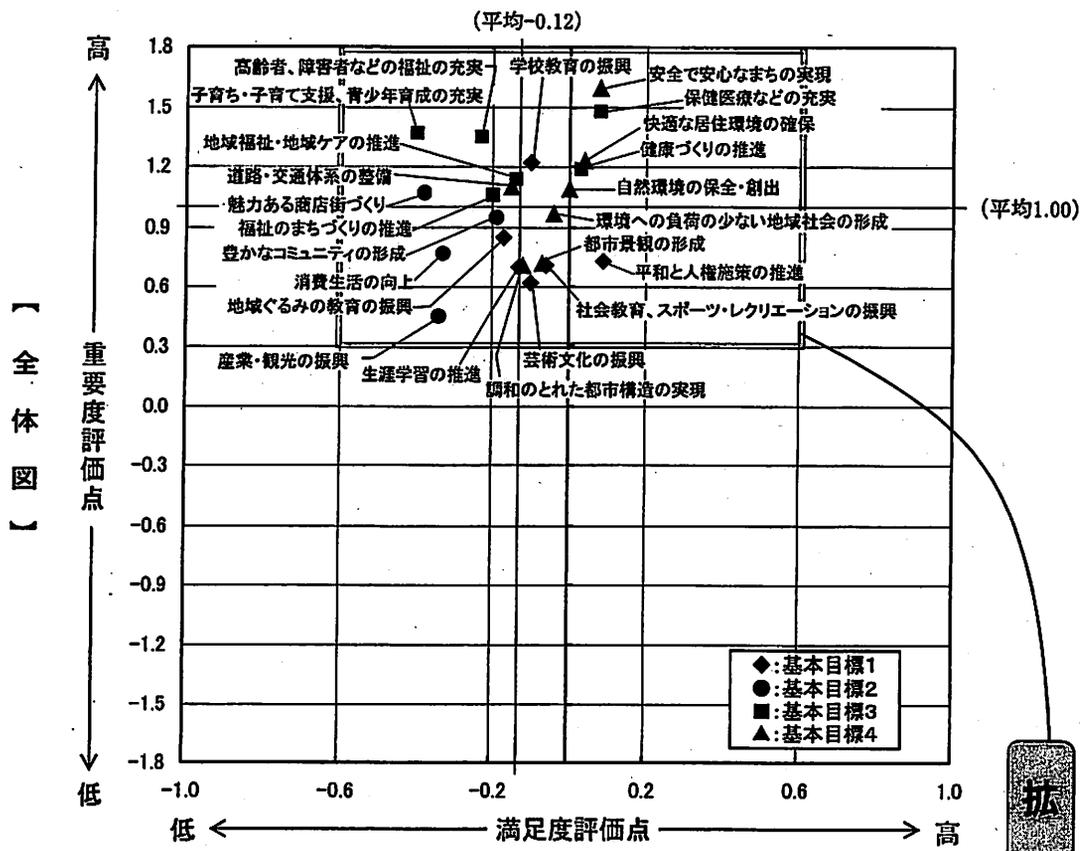
#### <重要度評価>

- 基本目標 1 では「学校教育の振興」（1.22）、基本目標 2 では「魅力ある商店街づくり」（1.07）、基本目標 3 では「保健医療などの充実」（1.48）が最も高くなっている。基本目標 4 では「安全で安心なまちの実現」（1.60）が最も高く、これは全体でも一番高い。
- 経年比較でみると、全体平均は平成 26 年調査から 0.20 下がっており、平成 18 年調査からも 0.23 下がっている。施策別に平成 26 年調査と比べると、「快適な居住環境の確保」以外は下がっており、特に「産業・観光の振興」と「福祉のまちづくりの推進」がそれぞれ 0.47 下がっている。

#### <満足度評価>

- 基本目標 1 では「平和と人権施策の推進」（0.09）が最も高く、全体でも一番高い。基本目標 2 では「豊かなコミュニティの形成」（-0.19）、基本目標 3 では「保健医療などの充実」（0.08）、基本目標 4 では「安全で安心なまちの実現」（0.08）が最も高くなっている。
- 経年比較でみると、全体平均は平成 26 年調査からは 0.06 下がっているが、平成 18 年調査からは 0.11 上がっている。施策別に平成 26 年調査と比べると、「快適な居住環境の確保」が 0.13、「安全で安心なまちの実現」が 0.08、「環境への負荷の少ない地域環境の形成」が 0.05 上がっている。なお、「快適な居住環境の確保」と「安全で安心なまちの実現」については、平成 18 年の調査から継続して満足度が上昇している。

図1-3 重要度・満足度 散布図【施策全体】



拡大

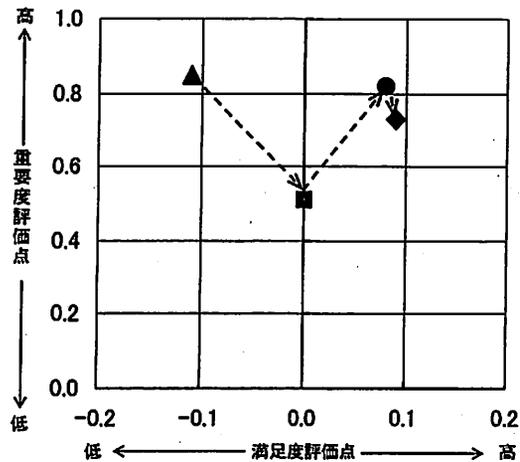
表1-2 重要度・満足度 一覧表【施策全体】一経年比較

		平成29年調査		平成26年調査		平成20年調査		平成18年調査	
		重要度 評価点	満足度 評価点	重要度 評価点	満足度 評価点	重要度 評価点	満足度 評価点	重要度 評価点	満足度 評価点
基本目標1	1 平和と人権施策の推進	0.73	0.09	0.82	0.08	0.51	0.00	0.85	-0.11
	2 生涯学習の推進	0.70	-0.13	1.02	-0.07	0.81	-0.03	1.06	-0.18
	3 地域ぐるみの教育の振興	0.85	-0.17	1.31	-0.04	1.40	-0.22	1.59	-0.33
	4 学校教育の振興	1.22	-0.10	1.47	-0.07	1.37	-0.21	1.55	-0.27
	5 社会教育、スポーツ・レクリエーションの振興	0.71	-0.06	1.01	0.04	0.66	0.06	1.02	-0.03
	6 芸術文化の振興	0.62	-0.10	0.84	0.01	0.61	0.05	0.93	0.01
	平均	0.81	-0.08	1.08	-0.01	0.89	-0.06	1.17	-0.15
基本目標2	7 豊かなコミュニティの形成	0.95	-0.19	1.07	-0.11	1.04	-0.04	1.08	-0.13
	8 魅力ある商店街づくり	1.07	-0.38	1.15	-0.22	1.03	-0.20	0.95	-0.34
	9 産業・観光の振興	0.45	-0.34	0.92	-0.27	1.04	-0.32	0.90	-0.30
	10 消費生活の向上	0.77	-0.33	0.84	-0.11	0.95	-0.21	0.93	-0.25
	平均	0.81	-0.31	1.00	-0.18	1.02	-0.19	0.97	-0.26
基本目標3	11 健康づくりの推進	1.19	0.03	1.24	0.08	0.94	0.04	1.00	-0.13
	12 保健医療などの充実	1.48	0.08	1.63	0.17	1.58	0.04	1.66	-0.13
	13 地域福祉・地域ケアの推進	1.14	-0.14	1.43	-0.08	1.42	-0.15	1.49	-0.23
	14 福祉のまちづくりの推進	1.06	-0.20	1.53	-0.12	1.36	-0.23	1.38	-0.29
	15 子育て・子育て支援、青少年育成の充実	1.37	-0.40	1.57	-0.23	1.45	-0.17	1.53	-0.38
	16 高齢者、障害者などの福祉の充実	1.35	-0.23	1.47	-0.15	1.52	-0.21	1.57	-0.25
	平均	1.27	-0.14	1.48	-0.05	1.38	-0.11	1.44	-0.24
基本目標4	17 自然環境の保全・創出	1.09	0.00	1.26	0.17	1.15	0.03	1.21	-0.02
	18 都市景観の形成	0.72	-0.07	0.98	-0.06	0.90	-0.09	0.89	-0.27
	19 調和のとれた都市構造の実現	0.71	-0.12	0.95	-0.10	0.81	-0.16	0.86	-0.23
	20 道路・交通体系の整備	1.10	-0.15	1.20	-0.07	1.21	-0.52	1.38	-0.55
	21 快適な居住環境の確保	1.23	0.04	1.18	-0.09	1.05	-0.28	1.11	-0.32
	22 安全で安心なまちの実現	1.60	0.08	1.64	0.00	1.66	-0.22	1.72	-0.40
	23 環境への負荷の少ない地域社会の形成	0.97	-0.04	1.13	-0.09	1.50	-0.07	1.56	-0.09
	平均	1.06	-0.04	1.19	-0.03	1.18	-0.19	1.25	-0.27
全体 平均		1.00	-0.12	1.20	-0.06	1.13	-0.14	1.23	-0.23

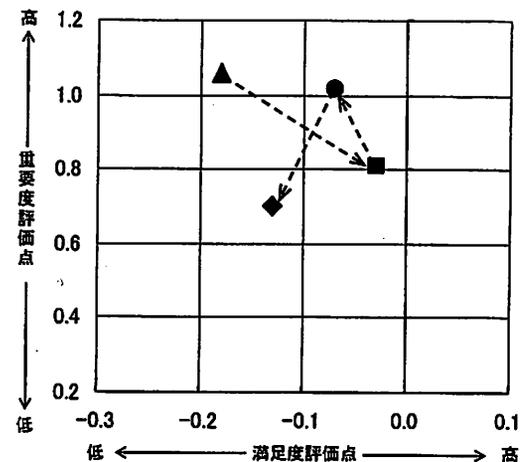
◆：平成 29 年調査  
 ●：平成 26 年調査  
 ■：平成 20 年調査  
 ▲：平成 18 年調査

図 1-4 重要度・満足度 散布図【基本目標 1】-経年比較

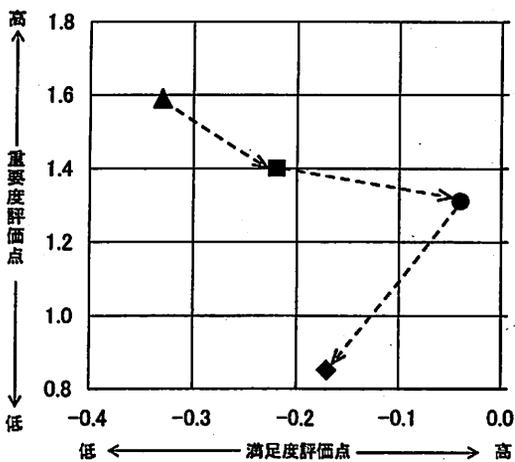
1. 平和と人権施策の推進



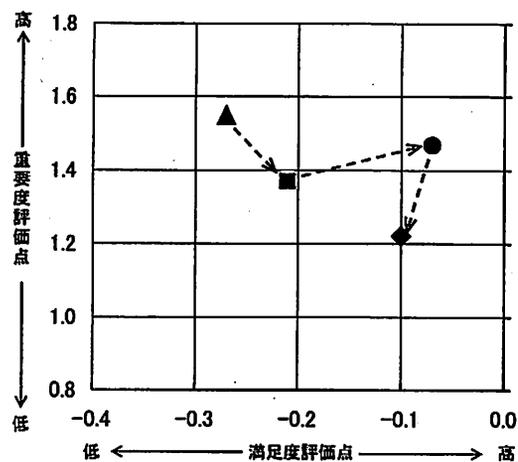
2. 生涯学習の推進



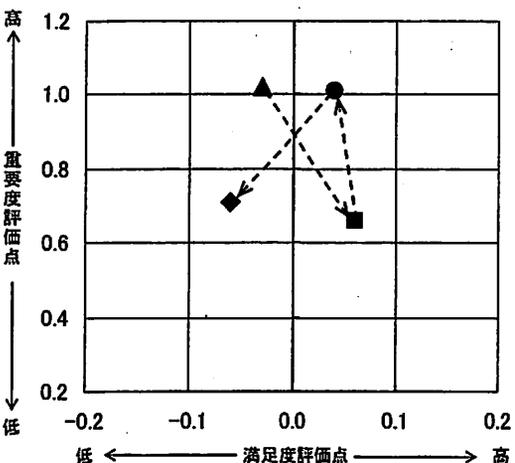
3. 地域ぐるみの教育の振興



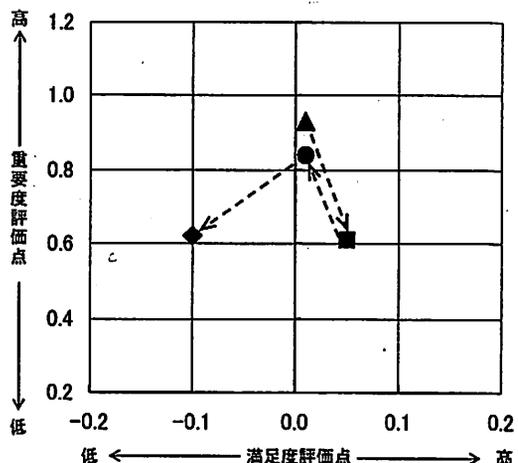
4. 学校教育の振興



5. 社会教育、スポーツ・レクリエーションの振興



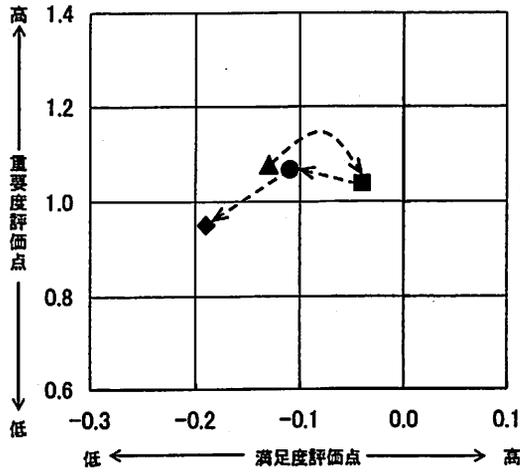
6. 芸術文化の振興



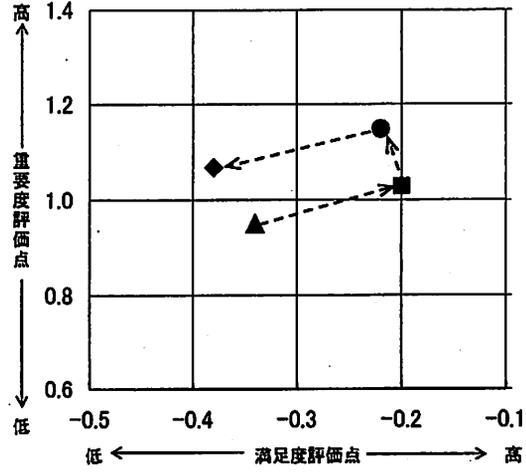
◆：平成 29 年調査  
 ●：平成 26 年調査  
 ■：平成 20 年調査  
 ▲：平成 18 年調査

図 1-5 重要度・満足度 散布図【基本目標 2】-経年比較

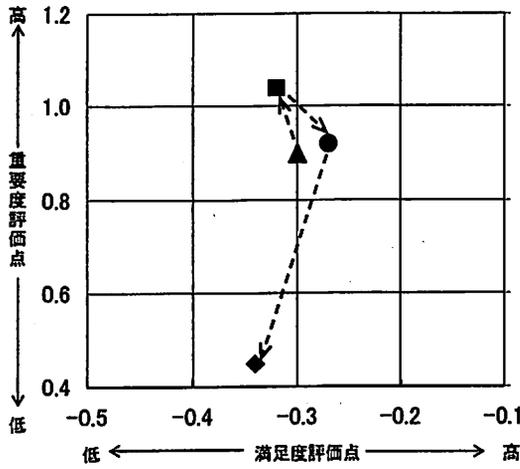
7. 豊かなコミュニティの形成



8. 魅力ある商店街づくり



9. 産業・観光の振興



10. 消費生活の向上

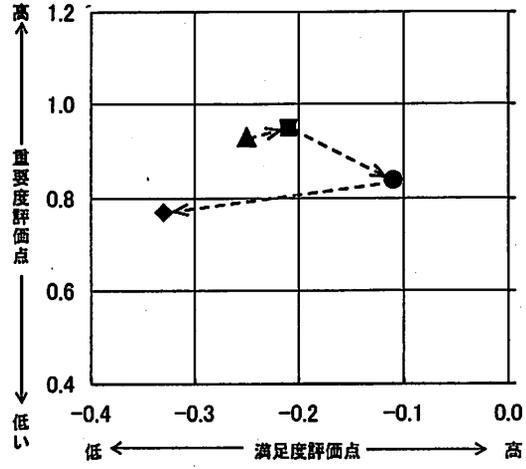
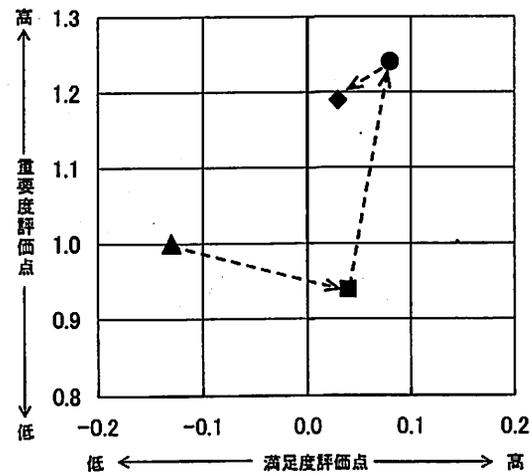
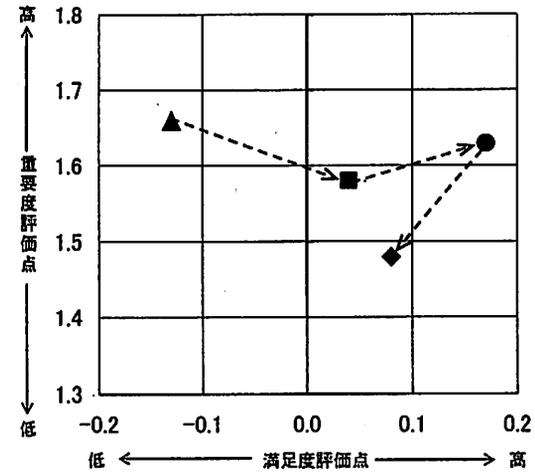


図 1-6 重要度・満足度 散布図【基本目標 3】-経年比較

11. 健康づくりの推進



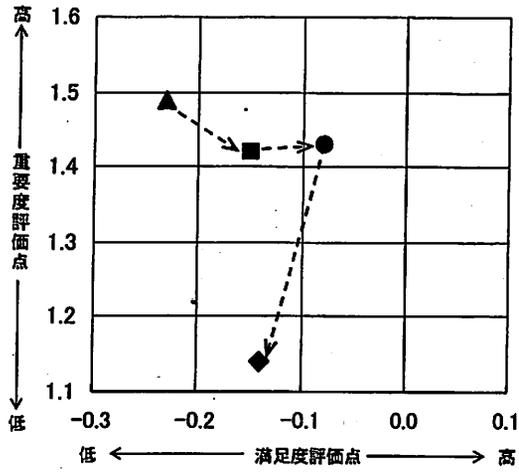
12. 保健医療などの充実



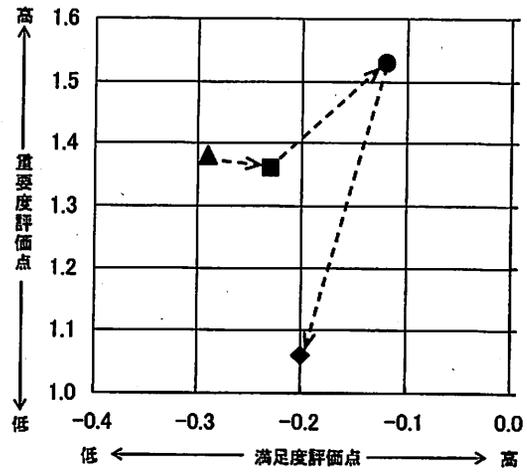
◆ : 平成 29 年調査  
 ● : 平成 26 年調査  
 ■ : 平成 20 年調査  
 ▲ : 平成 18 年調査

図 1-6 重要度・満足度 散布図【基本目標 3】-経年比較 (つづき)

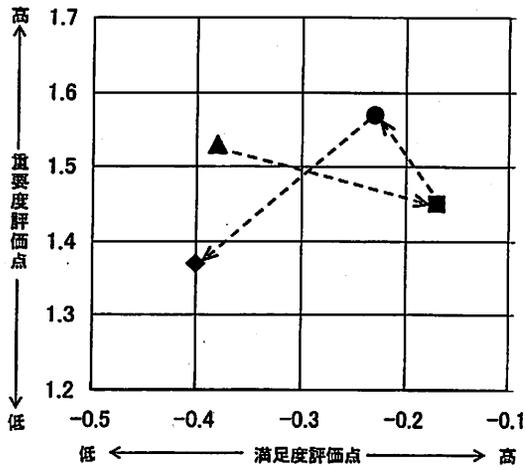
13. 地域福祉・地域ケアの推進



14. 福祉のまちづくりの推進



15. 子育て・子育て支援、青少年育成の充実



16. 高齢者、障害者などの福祉の充実

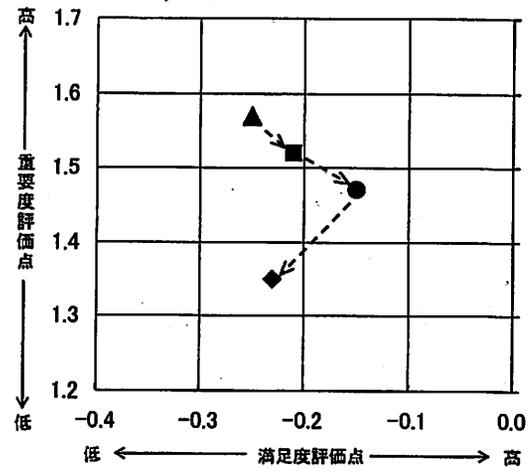
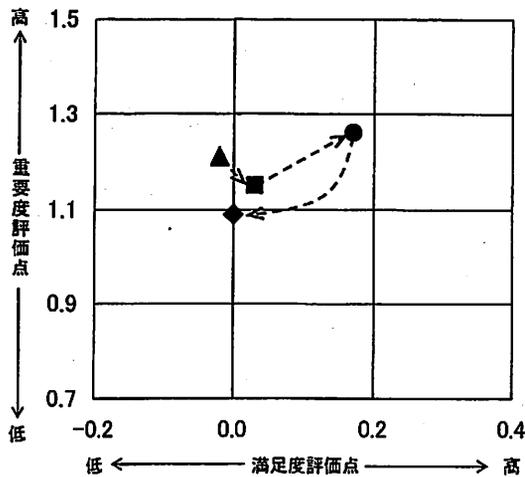
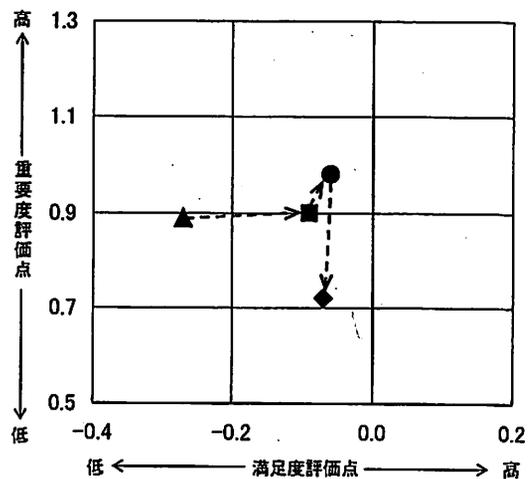


図 1-7 重要度・満足度 散布図【基本目標 4】-経年比較

17. 自然環境の保全・創出



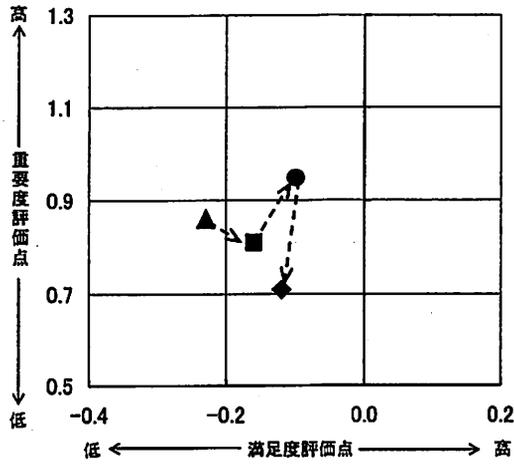
18. 都市景観の形成



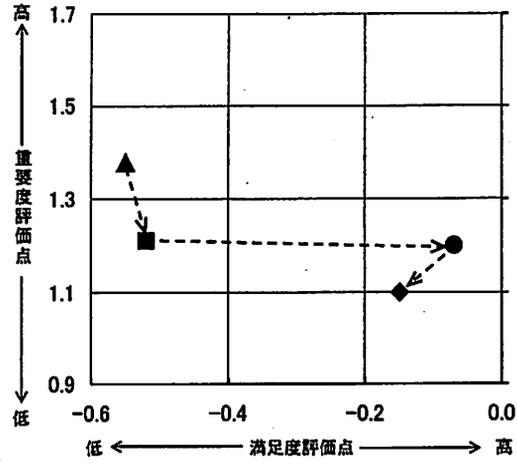
◆：平成29年調査  
 ●：平成26年調査  
 ■：平成20年調査  
 ▲：平成18年調査

図1-7 重要度・満足度 散布図【基本目標4】一経年比較（つづき）

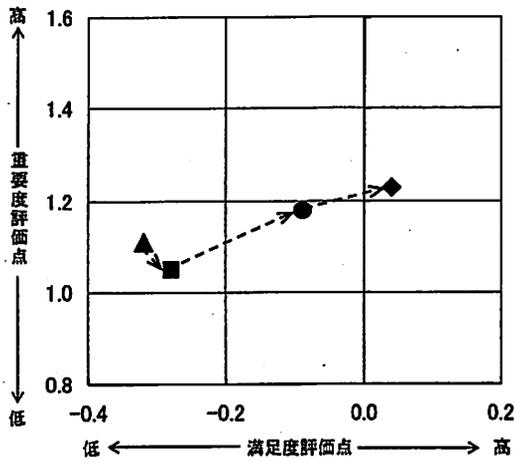
19. 調和のとれた都市構造の実現



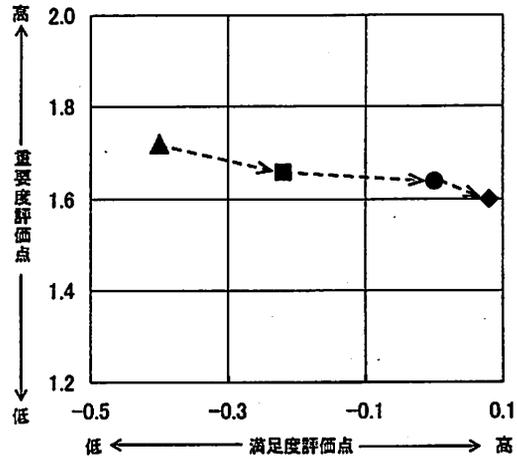
20. 道路・交通体系の整備



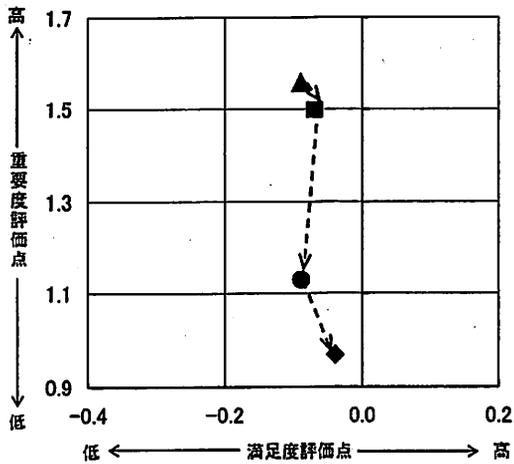
21. 快適な居住環境の確保



22. 安全で安心なまちの実現



23. 環境への負荷の少ない地域社会の形成



#### (4) 自由意見

- ・ 区政に対する意見・要望を自由に回答してもらったところ、449人から662件の回答があった。

1人の回答者が複数の項目にわたる意見を記入している場合は、それぞれの項目で1件として数えて集計した。回答内容を分類してまとめた結果は以下のとおりである。

内容		件数
基本目標1 豊かな人間性をはぐくむ 文化の香り高いまち	1 平和と人権施策の推進	0
	2 生涯学習の推進	0
	3 地域ぐるみの教育の振興	6
	4 学校教育の振興	34
	5 社会教育、スポーツ・レクリエーションの振興	34
	6 芸術文化の振興	2
基本目標2 ふれあいと活力のあるまち	7 豊かなコミュニティの形成	15
	8 魅力ある商店街づくり	15
	9 産業・観光の振興	12
	10 消費生活の向上	0
基本目標3 ともに支え合い 健やかに安心して暮らせるまち	11 健康づくりの推進	4
	12 保健医療などの充実	21
	13 地域福祉・地域ケアの推進	9
	14 福祉のまちづくりの推進	6
	15 子育て・子育て支援、青少年育成の充実	79
	16 高齢者、障害者などの福祉の充実	27
基本目標4 環境に配慮した 安全で快適なまち	17 自然環境の保全・創出	16
	18 都市景観の形成	0
	19 調和のとれた都市構造の実現	54
	20 道路・交通体系の整備	48
	21 快適な居住環境の確保	5
	22 安全で安心なまちの実現	32
	23 環境への負荷の少ない地域社会の形成	33
区政運営について		124
区の広報・広聴について		29
区職員の対応について		14
今回の意識調査について		23
その他		20
合計		662